



## ○ 油断

五月一日になりました。今日はたいへんよい天気です。まさに五月晴れというところです。気持ちがいい季節になりました。ただ、天気予報では上空に大変冷たい空気が流れ込むそうで、東北から中国地方にかけて雷が発生したり、<sup>ひょう</sup>雹が降ったりするところがあるそうです。油断はできないですね。

このようなことを考えていると学校という職場にも当てはまるのではないだろうかと思いました。幼児・児童・生徒・学生を預かる学校（幼稚園・保育園も）は子どもたちの笑顔が教職員を和ませてくれることも多いやりがいのある職場です。しかし油断はできません。包丁を扱っていれば手を切ることもあるでしょう。大けがにならないよう見守り、指導をしていかなければなりません。また、眼には見えなくても何らかの原因から悩んでいる人が居るかもしれません。新学期の4月という一月を頑張ってきて疲れがたまっている人も居るかもしれません。そのようなことから教職員は五月晴れのような心（気持ち）で働きながらも、常に油断しないように気を配っていく必要があるでしょう。



五月晴れという表現をしましたが、調べてみるともともとは梅雨の晴れ間のことを表現したことばで、季節は今の6月だったそうです。新暦と旧暦の関係からそのような“ずれ”があるようです。今は5月に遭ってよさそうです。

←「五月晴れ」で検索した画像です。

## ○ 自校自賛

今回の植物：サクランボ（桜桃）

私が物心ついた頃には我が家の庭に存在していました。特に世話をしているわけでもないのに毎年花を咲かせ、美味しい実を結び続けています。樹齢は60年以上経過していると思われますが、それほど大木ではありません。実際には実は葉の下に隠れるような位置にありますので、瓶などに生けるときは少し苦勞します。直接木からのもいで食べると大変美味しいです。ただ鳥たちもこの時期を知っており、油断するとたちどころになくなってしまいます。皮が薄く痛みやすいので、持ち歩いたりするときには気を遣います。



75号で紹介したときの花

